

1981～85年

論文

* 学術雑誌（筆頭著者）

1981年

Aspergillus versicolor 汚染米内部におけるステリグマトシスチンおよび侵入菌糸の分布について；高橋治男，矢崎廣久，七山悠三，真鍋 勝，松補慎治：マイコトキシン,10,4-6.

コレラ感染症と **Vibriocidal** 抗体価について；内村眞佐子，七山悠三，大井清：医学の歩み，118,213-215.

1983年

コーヒー豆中のアフラトキシン疑似物質について；矢崎廣久，高橋治男，七山悠三，上野郁子，祓川貴美江，上野芳夫：マイコトキシン,17,62-64.

Distribution of Sterigmatocystin and Fungal Mycelial in Individual Brown Rice Kernels Naturally Infected by Aspergillus versicolor：H.Takahashi, H.Yazaki, Y.Nanayama, M.Manabe, S.Matsuura：Cereal Chemistry,61(1),48-52.

散発下痢症患者由来の毒素原性大腸菌；内村眞佐子，三瓶憲一，小岩井健司，七山悠三，福田トヨ子，鈴木和夫，菅野治重，小林章男：感染症学雑誌，57(9),783-787.

1984年

国産落花生の糸状菌分布とカビ毒；高橋治男，矢崎廣久，一戸正勝：防菌防黴誌,12(9),429-436.

千葉県における赤痢・腸チフス・パラチフスの発生状況；三瓶憲一：千臨技会誌,31,2-6.

モデル浄化槽におけるコレラ菌の消長；小岩井健司，三瓶憲一，中山和好，成富武治，吉田豊，七山悠三：日本公衆衛生雑誌,3(6),250-256.

* 情報誌等

穀粒における汚染カビの侵入菌系とカビ毒の分布状態について；高橋治男：フードケミカル,5,40-47.

学会発表

1981年

都市下水の病原菌汚染について；三瓶憲一，小岩井健司，七山悠三：第18回下水道研究発表会.

モデル浄化槽におけるコレラ菌の消長；小岩井健司，三瓶憲一，中山和好，成富武治，古田 豊，内村眞佐子，七山悠三：第 20 回千葉県公衆衛生学会.

1982 年

走査型電子顕微鏡による糸状菌汚染玄米表面および表層の観察；高橋治男，矢崎廣久，真鍋 勝，松浦慎治：第 16 回マイコトキシン研究会.

Aspergillus versicolor 汚染玄米内部におけるステリグマトシスチンおよび侵入菌糸の分布について；高橋治男，矢崎廣久，真鍋 勝，松浦慎治：第 16 回 UJNR 有毒微生物専門部会.

穀物中の各種マイコトキシンの分析法；矢崎廣久，高橋治男，七山悠三：第 44 回日本食品衛生学会.

コーヒー豆中のアフラトキシン疑似物質について；矢崎廣久，高橋治男，七山悠三，上野郁子，川貴美江，上野芳夫：第 17 回マイコトキシン研究会.

赤痢菌の増菌培養法について；内村眞佐子，三瓶憲一，小岩井健司，七山悠三，堀川彰臣，渡辺寿恵子，竹田敏晴，小林崇則，鈴木暢枝，岡田知子，佐々木熙夫，鷺谷健次：第 21 回千葉県公衆衛生学会.

1983 年

Distribution of Mycotoxin in Individual Brown Rice Kernels Inoculated with Aspergillus flavus and Penicillium citrinum；高橋治男，矢崎廣久，真鍋 勝，松浦慎治：第 3 回国際菌学会

オクラトキシンによる乳製品汚染について；矢崎廣久，高橋治男：第 18 回マイコトキシン研究会

1984 年

NAG ビブリオが産生するカルベニシリン分解型 β -lactamase について；内村眞佐子，小岩井健司，三瓶憲一，矢崎廣久，高橋郁子，澤井哲夫：第 57 回日本細菌学会総会

市販刺身の病原菌検索；小岩井健司，三瓶憲一，内村眞佐子，矢崎廣久，七山悠三：第 18 回腸炎ビブリオシンポジウム

食肉および食肉製品から分離した黄色ブドウ球菌の ID テストにおける性状；三瓶憲一，尾上洋一，今野純夫，品川邦汎，小沼博隆，倉田 浩：第 5 回食品衛生微生物研究会

Campylobacter の生物性状について；小岩井健司，新井俊彦，日下部敦子，小松貞男：第 52 回日本細菌学会関東支部会

食鳥処理場におけるカンピロバクターの汚染実態；小岩井健司，三瓶憲一，矢崎廣久，村井慎夫，北山忠夫，立野 泰，本木義雄，江畑善嘉臣，野口英生：第 23 回千葉県公衆衛生学会

千葉県における健康小児の百日咳抗体保有状況；内村眞佐子，三瓶憲一，小岩井健司，北山秋雄，矢崎廣久，堀内善信，江下倉重：第 23 回千葉県公衆衛生学会